

## 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
秋 田 県	平成23年度～平成25年度

## &lt;連絡先&gt;

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
秋田県農林水産部農山村振興課	018-860-1851	018-860-3815	nosanshinkouka@pref.akita.lg.jp

## 【記入要領】

計画主体名

・市町村名にはふりがなをふること

計画期間

・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載する。

連絡先

・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

メールアドレス

・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

## I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	53.3ha	計画区域における農業用排水施設等の機能の確保(ha) =計画期間内に農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能確保された農地の面積 =53.3ha
<b>事業活用活性化計画目標の設定根拠</b> 【洞喰地区】計画目標面積 53.3ha 本地区は、秋田県北部の大館市葛原地内に位置し、一級河川米代川の右岸に展開する水田地帯である。地区内は、昭和32年～33年に積寒事業葛原地区により10aに整備されている。地区の用水は米代川の大水頭首工から自然取水し、山腹の水路を流下し本計画水路に続いており、受益地内の小用水路に分水されかんがいされている。 本計画路線は素堀水路で法面崩壊が著しく、維持管理に多大な労力を費やしている現状である。よって本計画で整備することにより、維持管理費を節減させ農家経営の安定を図ることを目標とすることから計画目標とした。		
事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1年	計画区域における基盤整備事業着手までの年数(年) =事業実施後、基盤整備事業の着手までの年数(年) =1年(4(3)地区)
<b>事業活用活性化計画目標の設定根拠</b> 事業着手に向けて、地区全体の調査、計画、換地作業等の基本となる地形図を作成する必要があること。また、換地設計基準を作成し、区画整理事業の着手後における換地計画の樹立・換地処分を円滑に推進する必要があることから計画目標とした。 【栄南部地区】事業実施H23、基盤整備着手H24目標 【下田平地区、高屋敷地区、小神成太田地区(H23年度地形図作成実施)】事業実施H24、基盤整備着手H25目標		
事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	2年	計画区域における基盤整備事業着手までの年数(年) =事業実施後、基盤整備事業の着手までの年数(年) =2年(9(6)地区)
<b>事業活用活性化計画目標の設定根拠</b> 事業着手に向けて、地区全体の調査、計画、換地作業等の基本となる地形図を作成する必要があること。また、換地設計基準を作成し、区画整理事業の着手後における換地計画の樹立・換地処分を円滑に推進する必要があることから計画目標とした。 【カラムシ岱地区、吉田地区、平沢地区、柴野地区、平根地区】事業実施H23、基盤整備着手H25目標 【芦崎地区、山谷地区、三条川原地区、瀧野十二峠地区】事業実施H24、基盤整備着手H26目標		

## 事業活用活性化計画目標の設定について

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用するに当たっては、実施要領の別紙に定める事業活用活性化計画目標を設定し、その目標の達成に必要な事業メニューを実施することとする。目標の設定に当たっては各項目毎に以下に定めるところによるものとする。

目標番号	事業活用活性化計画目標の項目及び設定の考え方
1	<p><b>定住人口の確保</b></p> <p>設定する目標は計画区域における転出入割合の増加とし、次により求めることとする。</p> <p>計画区域における定住人口の確保(ポイント)＝(計画期間内の転出入割合(%) (目標)－計画期間前<sup>※注3</sup>の転出入割合(%) (現状))</p> <p>注1 転出入割合＝転入人口÷転出人口×100(四捨五入により小数点第2位まで求める。また、転出人口が「0」の場合は「1」として計算する。)</p> <p>2 転出入は計画区域の転出入人口</p> <p>3 計画期間と同じ年数とする。</p>
2	<p><b>交流人口の増加</b></p> <p>設定する目標は計画区域外からの入込客数の増加率とし、次により求めることとする。</p> <p>計画区域における交流人口の増加(%)＝(計画期間内の計画区域外からの入込客数(人)(目標)÷計画期間前<sup>※注3</sup>の計画区域外からの入込客数(人)(現状)×100－100</p> <p>注: 1 計画区域外からの入込客は、日帰り客だけでなく宿泊客等、全てを含めた入込客とする。</p> <p>2 四捨五入により小数点第2位まで求める。</p> <p>3 計画期間と同じ年数とする。</p>
3	<p><b>滞在者数及び宿泊者数の増加</b></p> <p>設定する目標は計画区域内の都市農山漁村交流施設等における滞在者数及び宿泊者数の増加率とし、以下により求めることとする。</p> <p>計画区域内の都市農山漁村交流施設等における滞在者数及び宿泊者数の増加(%)＝(計画期間の滞在者数及び宿泊者数(人)(目標)÷計画期間前<sup>※注2</sup>の滞在者数及び宿泊者数(人)(現状)×100－100</p> <p>注1 四捨五入により小数点第2位まで求める。</p> <p>2 計画期間と同じ年数とする。</p> <p>3 計画期間前の滞在者数及び宿泊者数が「0」の場合は「1」として計算する。</p>

4	<p><b>地域産物の販売額の増加</b></p> <p>設定する目標は計画区域において生産された農林水産物の販売額の増加率とし、以下により求めることとする。</p> <p>計画区域において生産された農林水産物の販売額の増加(%) = (計画期間内の地域産の農林水産物の販売額(千円)(目標) ÷ 計画期間前※注2の地域産の農林水産物の販売額(千円)(現状)) × 100 - 100</p> <p>注1 四捨五入により小数点第2位まで求める。  注2 計画期間と同じ年数とする。</p>
5	<p><b>地域産物の販売量の増加</b></p> <p>設定する目標は計画区域において生産された農林水産物の販売量の増加率とし、以下により求めることとする。</p> <p>計画区域において生産された農林水産物の販売量の増加(%) = (計画期間内の地域産の農林水産物の販売量(t)(目標) ÷ 計画期間前※注2の地域産の農林水産物の販売量(t)(現状)) × 100 - 100</p> <p>注1 四捨五入により小数点第2位まで求める。  注2 計画期間と同じ年数とする。  注3 地域産の農林水産物の販売量について、その種類が多様であることから合計の増加率を設定することが適当でない場合は本交付金の活用により販売量の増加が見込まれる代表の農林水産物の販売量について記入すること。</p>
6	<p><b>定住等の促進に資する遊休農地の解消</b></p> <p>設定する目標は計画区域における遊休農地の解消に向けた調査面積とし、以下により求めることとする。</p> <p>計画区域における遊休農地の解消に向けた調査面積(ha) = 計画期間内の計画区域における遊休農地の実態等の調査対象面積(ha)</p>
7	<p>設定する目標は計画区域における遊休農地の解消面積とし、以下により求めることとする。</p> <p>計画区域における遊休農地の解消面積(ha) = 計画期間内の計画区域における土地条件整備による遊休農地の解消面積(ha)</p>
8	<p><b>定住等の促進に資する担い手への農地利用集積</b></p> <p>設定する目標は計画区域における担い手への農地利用集積率の増加とし、以下により求めることとする。</p> <p>計画区域における担い手への農地利用集積率の増加(ポイント)  = (計画期間終了時の事業実施地区における担い手への経営等農用地面積(ha) ÷ 事業の受益面積(ha))(目標) × 100  - (事業実施地区における担い手への経営等農用地面積(ha) ÷ 事業の受益面積(ha))(現状) × 100</p> <p>注1 担い手とは、農村振興局長が別に定める基準に適合する農業者又は農業者の組織する団体とする。  注2 担い手への農地利用集積率とは、対象事業の受益面積(ha)に占める担い手の経営等農用地(所有権若しくは利用権に基づき又は農作業受託により集積された農用地をいう。)面積(ha)の割合とする。(四捨五入により小数点第2位まで求める)</p>
9	<p><b>定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保</b></p> <p>設定する目標は計画区域における農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の面積とし、以下により求めることとする。</p> <p>計画区域における農業用排水施設等の機能の確保(ha) = 計画期間内に農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の面積(ha)</p>
10	<p><b>定住等の促進に資する基盤整備の円滑化</b></p> <p>設定する目標は計画区域における区画整理事業又は交換分合着手までの年数とし、以下により求めることとする。</p> <p>計画区域における区画整理事業又は交換分合着手までの年数(年) = 事業実施後、区画整理事業又は交換分合の着手までの年数(年)</p>

11	<p><b>定住等の促進に資する農用地の集団化</b></p> <p>設定する目標は計画区域における分散された農地が集団化される割合とし、以下により求めることとする。ただし、農地が集団化される場合に代えて農村振興局長が別の場合を定める場合には、その割合を目標とし、農村振興局長が別に定めるところにより求めることとする。</p> <p>計画区域における農地の集団化率(%) = (計画期間前の事業実施地区の団地数 - 計画期間終了時の団地数) ÷ (計画期間前の事業実施地区の団地数 - 地区内の耕作者数) × 100</p> <p>注: 四捨五入により小数点第2位まで求める。</p>
12	<p><b>農山漁村景観を活かした取組の増加</b></p> <p>設定する目標は計画区域における農山漁村景観に関する活動数の増加とし、以下により求めることとする。</p> <p>計画区域における事業の実施を契機とした農山漁村景観の維持・保全・利活用等の活動数の増加数(回) = 計画期間内の活動数(回) - 計画期間前※1の活動数(回)</p> <p>注: 1 計画期間と同じ年数とする。 2 農山漁村景観に関する活動とは、交付対象事業により整備した施設等の保全・維持管理等に関する活動、農山漁村景観の維持・保全に資する活動及び農山漁村景観の利活用等を行う活動をいう。</p>
13	<p><b>自然環境の保全・再生に向けた取組の増加</b></p> <p>設定する目標は計画区域における環境創造に資する取組数の増加とし、以下により求めることとする。</p> <p>計画区域内における事業の実施を契機とした環境創造に資する取組数の増加数(回) = 計画期間内の取組数(目標) - 計画期間前※1の取組数</p> <p>注: 1 計画期間と同じ年数とする。 2 環境創造に資する取組とは、ピオトープの管理活動等の自然環境の保全・再生を目的とした地域住民等による活動をいう。</p>
14	<p><b>定住者又は来訪者の安全確保</b></p> <p>設定する目標は計画区域における一時避難場所の面積の増加率とし、以下により求めることとする。</p> <p>計画区域における一時避難場所面積増加率(%) = 計画期間終了時の一時避難広場面積(m<sup>2</sup>)(目標) ÷ 計画作成時の一時避難広場面積(m<sup>2</sup>)(現在) × 100 - 100</p> <p>注: 四捨五入により小数点第2位まで求める。</p>

注 現状の数値は直近の数値とし、前年度実績等により記入することとする。

## II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金事業 費 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
基盤整備(農業用排水施設)	洞噴	現状の素堀水路は法面崩壊が著しく、水路維持管理に苦慮していることから、早期にこの対策を実施することにより、今後の維持管理費軽減と用水の安定的な供給を図ることを目的とする。	農業用排水施設整備 L=600m  大型フリューム B1000×H1000 L=372.85m B1200×H1000 L=177.85m B1600×H1000 L=36.95m 樹等付帯工 N=1式	H23 ～H25	洞噴地区土地改良 共同施行	43,000	23,650	55	23,650	大館市では新大館市総合計画(H18策定)の基本目標に「地域の多彩な魅力で創造し、自然環境と都市機能が融合した、北東北の拠点都市“おたて”」を掲げており、農林水産業の振興では生産者の顔の見える競争力の高い農畜産物の産地化を目指している。 特に、本地区は昭和32～33年に調査事業東原地区により10a区画に整備され、米代川の久々頭首工から自然取水し、本路線に導水して受益地内のかんがい用水としているが、現状の素堀水路は法面崩壊が著しく、水路維持管理に苦慮している状況である。そのため、当該水路を整備することにより、今後の維持管理費軽減と用水の安定的な供給を図り、農業経営の安定化による農業従事者の定住を目指している。
地形図作成	カラムシ岱	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=40.0ha	H23	北秋田市	2,000	1,100	55	1,100	北秋田市では平成19年度策定の総合計画の中で、低コスト化・効率化のため、ほ場整備及び農地の流動化・集積化などにより農業生産基盤の整備・維持を図るとともに、農業の魅力向上をさせ、農業の担い手である認定農業者や農業生産法人等の育成を図り、農業の基幹作物である稲作を中心に、野菜、果樹、花き、肉用牛、乳用牛等を組み合わせ、合理的複合経営で農業生産性の向上を目指している。 事業計画地区において、現況10a～20a区画の農地を50a区画を主体とする大区画に整備し、大型機械の導入と農業生産法人化を行い、農用地の利用集積向上・生産コストの低減を図ることとしている。特に、地域の重点作物である、大豆・ホウレンソウ・アスパラガスなどの高品質化・高収益経営化により、農業従事者の定住を目指している。
農用地等集団化	カラムシ岱	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=40.0ha	H23	北秋田市	1,213	667	55	667	
地形図作成	吉田	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=22.0ha	H23	北秋田市	1,350	742	55	742	
農用地等集団化	吉田	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=22.0ha	H23	北秋田市	667	366	55	366	
地形図作成	下田平	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=103.0ha	H24	能代市	4,326	2,379	55	2,379	能代市では平成19年度策定の能代市総合計画の基本目標に「元氣とるおいのまち」を掲げており、力強く持続する農業を目指している。施策の方針として、安全・安心な農産物の生産・販売を進めるとともに、消費者ニーズに対応した農業の確立に努め、認定農業者や兼業営農組織を中心に農業の担い手の育成を促進し、農業経営の生産性を高めるために農地の集積を図り複合経営化を図っていくこととしている。 特に事業計画地区における方針として、安定的農業経営を確立できるよう、農地の整備やかんがい施設の改善などを進め、農業生産の効率化を図り、農業従事者の定住を目指している。
農用地等集団化	下田平	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=103.0ha	H24	二ツ井町土地改良区	3,601	1,980	55	1,980	
地形図作成	芦崎	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=54.0ha	H24	三種町	2,268	1,247	55	1,247	三種町では平成19年度策定の「三種町総合計画」において、効率的で足腰の強い経営体を育成するため、基盤整備を基幹に及び農地の流動化・集積化などにより農業生産基盤の整備統合を図るとともに、農業の魅力向上をさせ、農業の担い手である認定農業者や農業生産法人等の育成を図り、農業の基幹作物である稲作を中心に、野菜、花き等を組み合わせ、合理的複合経営で農家の所得向上を目指している。 事業計画地区において、現況5～10a区画の農地1ha区画を主体とする大区画に整備し、大型機械の導入と農業生産の組織化・法人化を行い、農用地の利用集積向上・生産コストの低減を図ることとしている。特に、地域の重点作物である、大豆・アスパラガスなどの高品質化・高収益経営化により、農業従事者の定住を目指している。
農用地等集団化	芦崎	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=54.0ha	H24	三種町浜口土地改良区	1,806	993	55	993	
地形図作成	平沢	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=104.0ha	H23	雄和中央土地改良区	4,500	2,250	50	2,250	秋田市では平成19年3月に策定した総合計画の中で、生産性の向上による効率的・安定的な農業の確立を図るため、環境との調和に配慮しながら、ほ場やかんがい排水などの整備を推進するとともに、老朽化が著しい農業水利施設の計画的な更新を進め、水不足地域における水源の確保に努めることとしている。 また、地域農業を担う認定農業者を確保・育成するとともに、ほ場整備事業を契機として法人化を図り、農業従事者の定住を目指している。
農用地等集団化	平沢	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=104.0ha	H23	雄和中央土地改良区	3,154	1,577	50	1,577	

地形図作成	柴野	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=25.0ha	H23	由利本荘市	2,079	1,143	55	1,143	<p>由利本荘市では、総合発展計画(平成17年制定)において、基幹産業である農業について、生産基盤の整備や生産体制の確立を図り、生産者団体等との連携のもと農産物のブランド化、付加価値の高い農産物の産地形成、農産加工品の開発、食育にもつながる地産地消の促進、特別栽培米の拡大など、多様なアグリビジネスの展開に努めることとしている。</p> <p>特に事業計画地区における方針として、現状の小区圃農地を50a~1haを主体とする大区域に整備し、農業生産法人をはじめとする高度経営体を育成することによって、水稲や戦略作物の生産拡大と複合経営の確立を図り、高生産性及び低コスト農業を促進させ、農業従事者の定住を目指している。</p>
農用地等集団化	柴野	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=25.0ha	H23	内越土地改良区	758	416	55	416	
地形図作成	平根	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=70.0ha	H23	由利本荘市	3,801	2,090	55	2,090	
農用地等集団化	平根	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=70.0ha	H23	鳥海町上川内環土地改良区	1,500	825	55	825	
地形図作成	山谷	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=23.0ha	H24	大仙市	2,583	1,420	55	1,420	
農用地等集団化	山谷	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=23.0ha	H24	大仙市	766	421	55	421	
農用地等集団化	高屋敷	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=65.0(46.0)ha	H24	大仙市	1,585	871	55	871	
地形図作成	三条川原	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=80.0ha	H24	大仙市	3,360	1,848	55	1,848	
農用地等集団化	三条川原	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=80.0ha	H24	大仙市	2,698	1,483	55	1,483	
地形図作成	小神成太田	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=216.0ha	H23	大仙市	8,452	4,648	55	4,648	
農用地等集団化	小神成太田	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=216.0ha	H24	大仙市	7,570	4,163	55	4,163	
地形図作成	洞野十二峠	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=33.0ha	H24	仙北市	1,540	847	55	847	<p>仙北市では平成21年度策定の仙北市水田農業ビジョンにおいて、担い手の育成・確保と効率の良い作業体系の確立を掲げており、担い手の安定した農業経営のため、農地集積をさらに進めることとしている。</p> <p>特に事業区域における方針として、生産者の高齢化や担い手の確保に対応し効率的かつ安定的に農業の生産維持強化をはかるため、現状の未整備水田を出来るだけ30a以上の区画に整備し、さらには農業生産法人等を立ち上げ、市の重点作物を導入した複合経営の確立を目指す。</p>
農用地等集団化	洞野十二峠	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=33.0ha	H24	仙北市	1,312	721	55	721	
地形図作成	栄南部	事業着手前に地区全体の調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となる地形図を作成する。	地形図作成 A=60.0ha	H23	横手市	2,300	1,265	55	1,265	<p>横手市では平成18年度策定の横手市総合計画の中で、農業生産基盤や戦略作物の生産拡大、就農者の高齢化に対応するため、生産法人、集落営農組織、担い手の育成、水稲プラス野菜、果樹、花き並びに畜産等の複合経営の推進を図ることとしている。</p> <p>特に事業計画地区における方針として、農業生産性向上や生産コストの低減を図るため区画整理事業を実施し、地域農業・農村の担い手農家の育成・確保と農業従事者の定住を目指している。</p>
農用地等集団化	栄南部	経営体育成促進換地等調整(地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成)	農用地等集団化 A=60.0ha	H23	横手市	1,728	950	55	950	
合 計						109,917	60,062		60,062	

(別添)

### 融資主体型支援助成対象者調書

〇〇地区活性化計画 (〇〇県〇〇市町村)

NO	助成対象者名	住 所	代表者名

#### 1 助成対象者の概要

- 1 農林漁業者等の組織する団体  
 ①農業生産法人       ②農事組合法人       ③その他  
 2 参入法人

(注) 該当する経営体の□にチェックを入れること。

#### 2 整備内容等

NO	整備内容 (機械施設名、規模、台数等)	実施 年度	着工(契約) 予定年月日	竣工予定年月日	農業機械の保管住所、施設の設定住所
1					
2					
3					

#### 3 資金調達計画

NO	事業費(円) A	資金調達計画(円)				助成率 (%) B/A	融資 率(%) C/A	担 保 措 置 の	備 考 (助成限度率等)
		助 成 金 B	融 資 C	自己資金	その他				
1									
2									
3									
計									

(注) 整備施設を融資のための担保に供する場合は、□にチェックを入れること。

#### 4 追加的信用供与支援の活用計画

項 目	資金調達のうち融資の概要	
	融 資 ①	融 資 ②
金 融 機 関 名		
融 資 名		
融資金額(円)		
償 還 年 数		
融資審査の進捗状況	借入予定 平成 年 月 日	借入予定 平成 年 月 日
農業信用基金協会による機関保証の利用	追加的信用供与支援の活用を希望する 追加的信用供与支援の活用を希望しない	追加的信用供与支援の活用を希望する 追加的信用供与支援の活用を希望しない

(注) いずれかの□にチェックを入れること。なお、機関保証利用の有無については、融資機関及び農業信用基金協会の審査によって希望に添えない場合があることに留意すること。



### Ⅲ 優先枠等を活用する事業に関する事項

(交付対象事業別概要)

#### 1 生産製造連携事業計画優先枠

優先枠の種類	事業メニュー名	地区名	優先枠に係る事業内容
1 生産製造連携事業計画優先枠			

#### 2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠

優先枠の種類	地区名	優先枠に係る事業内容
2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠		

#### 3 輸出促進条件整備事業

優先事項の種類	事業メニュー名	地区名	優先事項に係る事業内容
3 輸出促進条件整備事業			

- 【記入要領】
- ①必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
  - ②優先枠を活用する事業とは、予算の優先枠(生産製造連携事業計画優先枠及び再生可能エネルギー供給施設整備優先枠)の対象となる事業であり、具体的には、要件類別番号30又は要件類別番号31を満たすものがその対象となる。
  - ③生産製造連携事業計画優先枠に係る優先枠事業を実施しようとする場合には、全体事業計画のうち、要件類別番号30に係る部分の事業内容について記載すること。
  - ④再生可能エネルギー供給施設整備優先枠に係る優先枠事業を実施しようとする場合には、全体事業計画のうち、要件類別番号31に係る部分の事業内容について記載すること。
  - ⑤事業メニューには、実施要領の別表1の事業メニュー名を記載すること。
  - ⑥地区名には、事業の実施地区名を記入すること。

## 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金年度別事業実施計画の記入について

年度別事業実施計画の記入に当たっては以下によるものとする。

項目	記入上の注意
1 様式の変更	様式の変更は、「事業別内容」の項における事業メニューの数に応じた行の追加及び「事業活用活性化計画目標等」の項における事業活用活性化計画目標の設定数に応じた行の追加のみとすること。これ以外の変更(列の追加、セルの結合等)は絶対に行わないこと。
2 計画の提出年度	「計画の提出年度」の欄は当該計画を最初に提出した年度(該当予算年度)を記入すること。計画変更による再提出の場合であっても当初提出に係る年度のままとすること。
3 新規・変更の別	計画を新規に提出する場合は「1」、変更計画として再提出する場合は「2」を記入すること。 なお、計画の変更による再提出の場合は行を追加し、変更した部分については、変更前を( )にし、変更後の内容を追加した行に記入すること。
4 都道府県名(コード)	「都道府県名」、「都道府県コード」の欄は、当該計画の計画主体が属する都道府県名及び当該都道府県の全国地方公共団体コード(総務省)を記入すること。なお、北海道「010006」のように、コードが「0」で始まっている場合「0」は省略し、「10006」として記入すること。
5 計画主体(コード)	「計画主体名」、「計画主体コード」の欄は、当該計画の計画主体名及び当該計画主体の全国地方公共団体コード(総務省)を記入すること。なお、札幌市「011002」のように、コードが「0」で始まっている場合「0」は省略し、「11002」として記入すること。 また、共同申請の場合にあっては計画主体名に共同申請に係る計画主体を併記し、「計画主体コード」の欄は代表の地方公共団体コードを記入すること。
6 計画番号	1つの計画主体が複数の計画を作成する場合は、計画毎に番号を付し、当該番号をそれぞれの年度別事業実施計画の「計画番号」の欄に記入すること。 例:計画主体が2つの計画を作成する場合はそれぞれの計画を「1」、「2」とし、それぞれの年度別事業実施計画の「計画番号」の欄に「1」又は「2」を記入すること。
7 ハード事業・ソフト事業	「ハード事業・ソフト事業の別」の欄は、ハード事業には「1」、ソフト事業には「2」を記入すること。 なお、ソフト事業は実施要領の別表の1の事業メニュー47及びこれと一体的に実施する創意工夫発揮事業(実施要領の別表の(5)の創意工夫発揮事業をいう。以下同じ。)のみが対象となる。
8 整理コード	「整理コード」の欄のうち、「事業別内容」の「内訳」の項については1から順に連番を付し、「事業別内容」の「合計」の項については「999」とし、「事業活用活性化計画目標等」の項については「1001」から順に連番を付すこと。なお、「整理コード」の欄のうち、「①事業費計」、「④市町村附帯事務費」、「⑤都道府県附帯事務費」、「総合計(①+④+⑤)」の項については、「①事業費計」の項を「2001」とし、その後順に連番を付すこと。
9 市町村名・地区名	事業を実施する市町村名、地区名を記入すること。
10 地域指定状況	事業を実施する地域の指定状況を記入すること。地域とは実施要領の別表の(1)の交付額算定交付率欄に定める振興山村、過疎地域、離島振興対策実施地域、半島振興対策実施地域、特定農山村地域、特別豪雪地帯、急傾斜地崩壊地帯、奄美群島及び沖縄とし、指定されている地域欄に「1」を記入すること。
11 計画期間最終年度	活性化計画の期間の最終年度を記入すること。
12 事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標は、別添の「事業活用活性化計画目標の設定について」に従って記入すること。 なお、「事業活用活性化計画目標等」の項の行数は目標の設定数に応じて追加すること。この場合「整理コード」の欄は連番を追加すること。
13 輸出促進条件整備事業	輸出促進に資する事業である場合は、優先事項ポイントとして「事業別内容」のうち「合計」の項に「1」を記入すること。

14	地域再生計画との関連	地域再生法(平成17年法律第24号)第5条第1項に規定する地域再生計画に位置づけられている事業である場合は、優先事項ポイントとして「事業別内容」のうち「合計」の項に「1」を記入すること。
15	耕作放棄地の解消に向けた取組の有無	計画主体が耕作放棄地の解消に向けた取組を行う場合は優先事項ポイントとして「事業別内容」のうち「合計」の項に「1」を記入すること。 なお、耕作放棄地の解消に向けた取組を行う場合は、計画主体が農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律第65号)第5条に規定する農業経営基盤強化促進基本構想に沿って取組を実施している又は事業実施期間中に実施することが確実であると見込まれる場合とする。
16	総合化事業計画との関連	地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律(平成22年法律第67号)第5条第1項に規定する総合化事業計画に位置づけられている事業である場合は、優先事項ポイントとして「事業別内容」のうち「合計」の項に「1」を記入すること。
17	優先枠関連	連携計画優先枠及び再生可能エネルギー優先枠について、該当する場合は優先枠関係欄に「1」を記入すること。
18	事業メニュー番号	事業メニュー番号は、実施要領の別表の1のものとし、「創意工夫発揮事業」は「80」、「農山漁村活性化施設整備附帯事業」は「81」とすること。
19	事業メニュー名	①事業メニュー名は実施要領の別表の1事業メニュー名、「創意工夫発揮事業」又は「農山漁村活性化施設整備附帯事業」を正確に記入すること。 ② 複数の施設等整備を計画する場合は、原則一つの事業メニュー毎、また、一つの事業メニューの実施が複数の要件類別に該当する場合には要件類別毎に一行で記入すること。 ただし、一つの事業メニューの実施が複数の要件類別に該当する場合において、交付額算定交付率が同じ要件類別にあつては、「要件類別番号」の欄のみを複数の行に番号を記載し、これ以外の欄は一行でまとめて記入しても構わない。 ③ 実施要領の別表の1の事業メニュー番号21により活動火山対策特別措置法(昭和48年法律第61号)第8条第1項に規定する防災営農施設整備計画に基づく洗浄機械又は飼料作物栽培管理機械施設の整備を行う場合は「事業メニュー名」の欄に「高生産性農業用機械施設(活動火山対策事業)」と記入すること。
20	要件類別番号	実施しようとする実施要領の別表の1の事業メニューに対応する要件類別の番号を記入すること。 なお、「創意工夫発揮事業」及び「農山漁村活性化施設整備附帯事業」に係る要件類別については、これらを一体的に行うことにより効果が増大される事業メニューに係る要件類別(複数の事業メニューの効果を増大する場合は代表の事業メニューの要件類別)を記入すること。
21	事業内容及び事業量	事業メニュー毎に、整備しようとする施設等の規模、事業内容等について簡潔に記入すること。 (例)「農道:L200m、W4m」、「無人ヘリコプター2台、田植機1台」、「トマト処理加工施設:1棟、300㎡」等 また、「本年度」の「事業内容及び事業量」の欄には本年度に実施しようとする施設等の規模、事業内容等を記入すること。 (例)「無人ヘリコプター1台」等
22	事業実施期間	事業メニュー毎に、当該事業の実施期間を記入すること。 (例)平成19年度から平成20年度まで実施する場合は「H19～H20」と記載
23	事業実施主体	事業実施主体の名称を記載すること。 (例)●●農業協同組合、●●農業生産者有限会社、●●森林組合、●●漁業協同組合 等
24	全体事業費	事業メニュー毎の総事業費を記入すること。
25	交付金額	事業メニュー毎の交付金額を記入すること。なお、ハード事業又はソフト事業毎の交付金額の合計は交付限度額の合計の範囲内である必要があることに留意すること。 なお、千円未満は切り捨てることとする。
26	交付額算定交付率	事業メニュー毎に、実施要綱及び実施要領の別表に定める交付額算定交付率を記入すること。

27	交付限度額	事業メニュー毎に、全体事業費に交付額算定交付率を乗じて求められる額を記入すること。 なお、千円未満は切り捨てることとする。
28	前年度まで	事業メニュー毎に、前年度までに実施した事業に係る事業費及び交付金額を記入すること。
29	本年度	事業メニュー毎に、本年度に予定している事業に係る事業費、交付金額、都道府県費、市町村費、その他(農協等事業実施主体負担等)、本年度末進捗率、単年度交付限度額、仕入れに係る消費税相当額を記入すること。なお、単年度の交付金の合計額が単年度交付限度額の合計の範囲内である必要があることに留意すること。 また、「仕入れに係る消費税相当額」の欄には、これを減額した場合には減額した金額を、同相当額がない場合には「該当なし」と、同相当額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記入すること。減額した金額を記入した場合は、「本年度」の欄の「事業費」、「交付金額」、「都道府県費」、「市町村費」、「その他」の欄は当該消費税相当額を含まない額を記入すること。
30	本年度までの累計	事業メニュー毎に、本年度までの累計の事業費及び交付金額を記入すること。
31	翌年度以降(予定)	事業メニュー毎に、翌年度以降の事業費及び交付金額の予定額を記入すること。
32	備考	備考欄には、事業を行うにあたって、交付対象物件を担保にし、自己資金の全部又は一部について融資を受ける場合には「融資該当」と記入の上、その内容(金融機関、制度資金名、融資を受けようとする金額、償還年数、その他必要な事項)が記載されている書類を添付すること。
33	①事業費計	「全体事業費」、「交付金額」、「交付限度額」、「事業費」、「交付金額」、「都道府県費」、「市町村費」、「その他」、「単年度交付限度額」の合計をそれぞれ記入すること。
34	②ハード事業	「①事業費計」の欄のうちハード事業(実施要領の別表の1の事業メニュー番号47及びこれと一体的に実施する「創意工夫発揮事業」以外の事業メニュー)に係る経費を記入すること。 また、ハード事業のうち「創意工夫発揮事業(ハード事業と一体的に実施するもの)」及び「農山漁村活性化施設附帯事業」に係る経費の合計額をそれぞれ「創意工夫発揮事業」「附帯事業」の項に記入すること。
35	③ソフト事業	「①事業費計」のうちソフト事業(実施要領の別表の1の事業メニュー番号47及びこれと一体的に実施する「創意工夫発揮事業」)に係る経費を記入すること。 また、ソフト事業のうち「創意工夫発揮事業(ソフト事業と一体的に実施するもの)」に係る経費の合計額を「創意工夫発揮事業」の項に記入すること。
36	④市町村附帯事務費	市町村附帯事務費の額を記入すること。なお附帯事務費の交付率は1/2以内とし、その取り扱い等については農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付要綱(平成19年3月30日付け18企第381号農林水産事務次官依命通知)及び「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の附帯事務費及び工事雑費の取扱いについて(平成19年8月1日付け19企第104号農林水産省大臣官房長通知)」により定められていることに留意すること。
37	⑤都道府県附帯事務費	都道府県附帯事務費の額を記入すること。なお附帯事務費の交付率は1/2以内とし、その取り扱い等については農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付要綱(平成19年3月30日付け18企第381号農林水産事務次官依命通知)及び「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の附帯事務費及び工事雑費の取扱いについて(平成19年8月1日付け19企第104号農林水産省大臣官房長通知)」により定められていることに留意すること。
38	総合計(①+④+⑤)	①事業費計、④市町村附帯事務費及び⑤都道府県附帯事務費の合計額を記入すること。
39	うちハード事業費(②+④+⑤)	総合計のうちハード事業費を記入すること。
40	うちソフト事業費(③)	総合計のうちソフト事業費を記入すること。
41	共同で計画作成を行う場合の内訳	計画主体が共同で活性化計画の作成を行う場合であって、各々の計画主体毎に交付金の交付申請手続きを行う予定である場合は、その計画主体毎の内訳を記入すること。 また、内訳の合計は、それぞれの項目毎に、②から⑤に計上される金額と一致することに留意すること。 なお、交付金の申請を行う計画主体の数に応じて行の追加を行うこと。



翌年度以降(予定)								備 考
翌年度以降								
事業費		平成25年度		平成26年度		平成○年度		
交付金額	事業費	交付金額	事業費	交付金額	事業費	交付金額	事業費	
円	円	円	円	円	円	円	円	
13,000,000	7,150,000	13,000,000	7,150,000					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
2,268,000	1,247,000	0	0					
1,806,000	993,000	0	0					
2,583,000	1,420,000	0	0					
766,000	421,000	0	0					
3,380,000	1,848,000	0	0					
2,698,000	1,483,000	0	0					
1,540,000	847,000	0	0					
1,312,000	721,000	0	0					
29,333,000	16,130,000	13,000,000	7,150,000					
29,333,000	16,130,000	13,000,000	7,150,000					
29,333,000	16,130,000	13,000,000	7,150,000					
0	0	0	0					
29,333,000	16,130,000	13,000,000	7,150,000					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
130,000	65,000	130,000	65,000					
90,000	45,000	90,000	45,000					
29,553,000	16,240,000	13,220,000	7,260,000					
29,553,000	16,240,000	13,220,000	7,260,000					
0	0	0	0					